

第七十四回
帝國議會
貴族院

臺灣米穀移出管理特別會計法案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十四年三月十五日(水曜日)午前十時
十四分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) 開會致シマス、昨日御請求ニナリマシタ陸軍當局ノ方ガ御出デニナリマシタカラ、宮田君

○宮田光雄君 本案ノ審議ノ關係上陸軍御當局ノ御意見ヲ實ハ承ツテ置キタイト思ッテ

御出席ヲ願ツタノデアリマスガ、過日衆議院ニ本案ガ提出サレタ際ニモ、本議場デアリマシタカ、議員カラ本案ニ付テノ陸軍トシテノ必要性ニ付テ質問サレタノデ、大臣カラ御答ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、貴族院トシテ更ニ改メテ御伺ヲ致シタイト思ヒマスノハ、此ノ法案ニ付テ臺灣ニ於ケル此ノ特用植物ト申シマスガ、作物ト申シマスガ、重要作物ト云フヤウナコトノ關係ニ付テ、其ノ作物ニハ軍事上特ニ必要ナモノガ多數含マレテ居ル、其ノ關係上カラ是非此ノ本案ノ成立ヲ御希望ナサルト云フコトモアツカヤウデアリマス、又他面ニ於キマシテハ、過日本議場ニ於テ我々ノ同僚ノ丸山君カラ我々ト臺灣ガ斯ウ云フヤウナ産業上ノ方針ヲ定メルノニ付テハ、已ニ日本ハ大陸ニ進出シテ、所謂日滿支一體ノ經濟機構ナ

リ、「ブロッグ」トシテノ働キラシナケレバナラスコトニ付テ俄ニ今急イデ之ヲ斯ウ云フヤウナ計畫ヲ實行スルニ及バヌデヤナイカ、及バヌトハ言ハナイガ、或ハ其ノ時機迄待ツテ居レバドウカト云フヤウナ御意見モアツタノデアリマス、是ハマア質問的ノ御意見デアリマシテ、ソレニ付テ彼此ト我々ハ批判ハ致シマセヌノデスガ、併シ大陸ニ於ケル經濟政策トカ產業政策ヲ決メルト云フコトハ、今日明日ノ問題トシテ取扱ヒ得ルモノガ一ツノ計畫トシテハ或ハ考ヘラレマスケレドモ、之ヲ實行スル上ニ於テハ非常ニ前途遼遠ノ感モアルノデアリマス、併シナガラ當局トシテハ已ニ皇軍ハ海南島モ占領シ、又廣東ハ已ニ其ノ以前ニ於テ占領シテ、著々トシテ軍事上ノミナラズ、色々ノ方策ヲ定メテ居ラレルヤウデアリマスカラ、ソレト此ノ臺灣ト云フモノトノ關係ハ軍當局ノ立場カラ御考ニナツテ、ドウ云フ風ナ方法ト申シマスガ、方策ヲ、或ハサウ云フコトハ機密ニ屬スルカモ知レマセヌガ、若シ我々ガ承ツテ參考ニ爲シ得ルヤウナコトガアレバ、其ノ方面ノコトモ一ツ聽カシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、詰リ所

謂物動計畫ノ上カラ云ツテ、臺灣及ビ南支、海南島トノ關係ト云フヤウナコトニ付テモ若シ多少デモ承ルコトガ出來タラ、仕合セト思ヒマス、兎ニ角ソレ等ノ點ニ付テ御差支ナイ程度ニ御説明ヲ願ヒタイ、斯ウ思ッテ御願ヒスル次第デアリマス

○政府委員(石川半三郎君) 御答ヘ申上ゲマス、臺灣移出米ノ管理案ニ對スル陸軍ノ意見ト致シマシテハ、戰時食糧問題及ビ軍需物資ノ生産擴充ト云フ二點ヨリ致シマシテ、重大ナ關心ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス

ルガ、案ノ内容ヲ拜見ヲ致シマスルト、本案ハ土地生産力ノ擴充耕地造成ヲ基本ト致シマシテ、其ノ上ニ米ヲ初メ甘蔗、大麻、苧麻、棉、苧麻等ノ増産ヲ期セムトスルモノデアリマス、米ノ生産ヲ確保スルコトハ時局柄殊ニ重要デアリ、又甘蔗、諸大麻、苧麻、棉、苧麻等ノ増植ヲ獎勵シマシテ、甘蔗、諸カラ無水「アルコール」、大麻、苧麻カラ纖維資源、苧麻カラ航空機ニ必要ナル苧麻子油等、軍事物資ノ資源ヲ開發スルコトハ、是亦今日最モ其ノ必要ニ迫ラレテ居ル所ノモノデアリマシテ、是ハ帝國ト致シマシテ臺灣ノ熱帶的特質ニ期待スルモノ

ガ多イノデゴザイマス、サウシテ米ヲ初メ是等各種ノ生産、増殖ヲ併セ行ヒマシテ、今日動モスレバ停頓狀態ニアル所ノ臺灣ノ土地生産力擴充、耕地造成等ノ施設ヲ行ヒ、是等ノ耕地ニ於キマシテ統制アル生産ヲ行フコトハ極メテ適切ナモノト認メテ居ルノデゴザイマス、左様ナ次第デゴザイマシテ、陸軍ト致シマシテハ本案ニ對スル臺灣軍ノ意見モ十分ニ斟酌ヲ致シマシタ結果、

本案ノ速カニ實現セムコトヲ期待シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、要シマスルノニ米ノ生産ガ確保サレテ、サウシテ且臺灣ニ斯クノ如キ熱帶的植物資源ガ得ラレルト云フコトガ誠ニ結構ナコトト思ッテ居ルノデアリマス、事變勃發以來此ノ方面ニ對スル所ノ軍需ノ必要ト云フモノガ急激ニ増大致シマシタノデ、且一面輸入ト云フ方ガ抑壓サレルノデ、陸軍當局ト致シマシテ是等ノモノヲ取得スルノニ非常ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、臺灣ニ對シマシテモ總督府ノ方ニ直接ノ要求ハ致シマセヌガ、出先ノ臺灣軍ニ對シマシテ軍需資源ノ獲得ニ付キマシテ昨年ハ盡力ヲ致サシタノデアリマスルガ、所望量ノ六割シカ臺灣デ得ラレナカッタ現況デアリ

マス、又十四年度ニ對シマシテモ、陸軍省ハ臺灣軍ニ對シテ軍需品ノ調辦命令ヲ發シテ居ルノデアリマスルガ、之ニ付キマシテ臺灣軍ニ對シテ十分總督府ノ御協力ヲ願フテ、所望ノモノヲ取ルヤウニト云フコトヲ督勵ヲシテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、成ルベク不足資源ヲ輸入ニ仰グコトガ出來ナイ今ノ事態ニ於キマシテハ、臺灣ノ生産力ニ期待スル所が大變多イノデアリマス、又只今ノ御話ノ通りニ事變地カラモ物ガ出テ來ルコトハ期待致シマスルガ、治安工作ノ進捗ノ關係モゴザイマシテ、ナカ／＼統計ニ示サレテ居ルヤウナ數字ノモノニ對シマシテハ極メテ少イ分量シカ取得出來ナイヤウナ現況デアリマス、又海南島占據モ出來マシタノデ、ソレ等ノ資源モ考慮ニ入レナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、物資ノ關係カラ申シマシテ、日滿支三國ノ適地適物ノ問題モゴザイマセウガ、ソレハ時日ヲ要シマスルノト、モウ一ツハ成ルベクソレヨリモ手近カナ内地ノ領土内ニ於テ出來ルト云フコトハ資源確保ノ上ニ付キマシテ最モ宜シイコトト存ジマシテ、出來ル狀況ニ置ケバ、先ヅ内地、臺灣、朝鮮、ソコ等ノ方デ求メ得ラレモノヲ取り、然ラザルモノハ外ニ向フト、斯ウ云フコトニ考ヘ

テ居ル次第デゴザイマス

○丸山鶴吉君 只今宮田委員ノ御質問ニ對シテ陸軍當局ノ御答辯ガアリマシタ、ソレニ關聯ヲ致シマシテ陸軍當局ノ御意見ヲ一應承ツテ見タイト思フノデアリマス、勿論臺灣ハ亞細亞ノ地デアリマシテ、特用產物ガ出テ居リマス、ソレデアリマスカラ、今ノヤウナ戰時ノ財政狀態デアリマスカラ、成ルベク外國カラ物ヲ取ラナイデ自給自足ヲ致スト云フヤウナコトハ、是ハ臺灣ダケノ問題デナシニ日本全體ニ對スル問題デアルト思フノデアリマス、此ノ管理案ノ御計畫ヲ拜見ヲ致シマス、只今御述ニナリマシタ黃麻、苧麻、蓖麻デモ増産ヲ致シマスト云フ目標ハ十年間デアリマシテ、而モ苧麻、蓖麻、黃麻等ヲ合セマシテモ、耕地面積ノ擴大ト云フノハ僅カニ二萬七千七百七十四甲歩位ナコトデアリマシテ、目算ノ通りニ増産ガ出來ルト致シマシテモ、サウ莫大ナ額デハナイノデアリマス、到底此ノ事變ニ要求サレテ居ルヤウナ額ガ臺灣ダケカラ產出スルトハ、ドウシテモ私共ハ思ハレヌノデアリマス、デ、此ノ管理案ヲ實施シナケレバ、ソレ等ノモノヲ増産スルコトノ出來ナイト云フコトデハナイノデアリマシテ、既ニ必要ナルモノハ御獎勵ニ依ッテ順次増産

ヲ致シテ居ル、先日來屢、此ノ委員會ノ席デモ申上ゲマシタガ、今特ニ指摘ヲサレマシタ蓖麻ノ如キ、飛行機ノ滑油トシテ要リマシタ材料デアリマスカラ、御獎勵ノ結果一躍一二年ノ間ニ約十倍ニ近イ進展ヲ致シテ居リマス、僅カニ昭和八年ニ二百六十甲歩バカリノモノガ今日デハ八千甲歩ヲ作り出シテ居ルヤウナ譯デアリマス、デ、之ヲ愛國蓖麻ト云フヤウナコトデ、軍需ニ直接必要ダト云フコトニナリマスレバ、ドシ／＼兎ニ角臺灣ノ人達ハ御獎勵ニ基イテ作ッテ居ル、蓖麻ノ如キモ十年ノ目論見デドウナッテ居ルカト云フト、僅カニ一萬二千町歩ヲ作ルト云フダケデ、モウ後九年ニ四千町歩ヲ御増シナルダケノ計畫ナンデアリマス、寧ろ是モ軍需上必要ダト云フコトニナレバ特別ニ御獎勵ニナレバ或ハ來年四千町歩……四千甲歩直グ植附ケルト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、ソレカ軍需上必要ナル品ト云フ問題ハ此ノ管理案ト切離シテ別個ニ考ヘ得ルモノデアッテ、此ノ管理案ヲ作ラナケレバ、ドウシテモ戰時必要ナル資源ヲ得ラレナイト云フ結論ニハ到達致シマセヌ、ソレヨリモ今陸軍當局ガ御指摘ニナリマシタ一番大事ナモノハ、戰時ノ食糧ノ問題デアルト仰セラレタノデ

アリマス、私共モ最モ同感デ、非常ニ私共ノ心配致シテ居リマスコトハ、戰時ノ際ニ若シ食糧ガ不足ダト云フ現象ガ起ッテ來マスコトハ、ソレ自體デ以テ國內ノ人心ニ及ス影響ガ非常ニ重大デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、斯ウ云フ戰時食糧政策ノ非常ニ緊切ノ際ニ米ハ幾ラアッデモ宜イ、斯ウ云フ際ニ此ノ案ヲ實施ヲセラレ、此ノ案ノ根本原因ト云フモノハ何處ニアルカト云フト、臺灣ニ於テハ米ガ偏重ニナル、米ガ多クナリ過ギルト云フコトデ、ソレヲ制限シヨウト云フコトガ主眼ニナッテ、此ノ法案ガ立案ヲサレタノデアリマス、要スルニ米ノ増大ト云フコトヲ抑止スルト云フコトガ一ツノ目的デアル、決シテ減産スルトハ申シマセヌケレドモ、増産スル勢ヒヲ抑ヘテ行カウト云フコトガ此ノ法案ノ目的デアル、ソレデアリマスカラ、少クトモ非常戰時時代デ米ガ非常ナ大切ナモノデアルト云フ時ニ、此ノ案ヲ實施スルコトハ却テ戰時食糧對策ニ取リマシテハ非常ニ矛盾ノ結果ヲ來スヤウナコトニナルデヤナイカ、サウ云フ點カラ私共非常ニ此ノ案ガ今日實施サレルコトニ付テ心配ヲ致シテ居リマスガ、其ノ點ニ付テハ陸軍當局ハドウ云フ御考デゴザイマセ

ウカ、ソレヲ承リマス

○政府委員(石川半三郎君) 陸軍ト致シマ

シテハ、米ノ供給確保ト云フコト同時ニ
是等重要ナル資源ヲ得ルト云フ兩方ノ目的
ガ達セラレルモノト確信致シマシテ、此ノ
法案ノ通過ヲ希望シテ居ル次第アリマス、
若シ假ニ米ガ足りナクナツテ、サウシテソ
レデモ此ノ資源ノ確保ヲ希望スルノカト云フ
コトニナリマスレバ、ソレハ俄ニ賛成ハ出
來スト思フ、併シナガラ米ノ方ニハ心配ハ
ナイト云フ案デゴザイマシテ、當局者ノ御
説明竝ニ農林大臣拓務大臣ノ方モ左様ナ確
信ヲ御持チニナツテ居ル、ソレデ米ニ不足ガ
ナクテ、サウシテ斯ノ如ク重要ナル新タナ
ル資源ヲ求メルコトガ出來ルト云フコトハ
極メテ願ハシイコトダト思ツテ居リマス、米
ノコトニ付キマシテハ私ノ方ハ需要者側デア
リマスガ、生産者トシテノ御専門ノ方ガ十
分御研究下スツテ、差支ナイト云フコトノ前
提ノ下ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
米ノ本年度ニ於キマス需要ハ、陸軍ト致シ
マシテハ、昨年ト比ベマシテ、内地米ノ需
要ハ減ツテ來ルノデアリマス、ソレハ現地デ
得ル所ノ糧食資源ヲ十分ニ利用致シタイ、
斯ウ考ヘテ居リマス、尤モ土地ニ依リマシ
テ、即チ北支方面ニ於キマシテハ、其處ノ

住民ガ米ヲ食ベテ居ラス關係上、北支ノ方

デハ現在ノ所ゴザイマセヌガ、中支、南支
ニ於キマシテハ米ガ需要サレテ居リマス、
ソレデ内地ノ生産ハ無論助長シナケレバナ
リマセヌガ、内地ノ産業ニ壓迫ヲ加ヘナイ
限度ニ於キマシテ、現地ニ於ケル所ノ食糧
品ヲ使ヒタイト云フ主義ニ向ヒマシテ、米
ニ於キマシテモ相當量ノ現地調辦米ヲ使ッ
テ軍用食糧ニ供シタイ、陸軍ノ方ハ斯ウ思ッ
テ居リマスカラ、昨年内地カラ追送致シマ
シタ米ノ分量ニ比ベマシテハ、本年ハ大分
減ズルノデヤナイカ、其ノ點ニ於キマシテ
ハ、若シ内地ノ方ノ米ノ供給量ガ多少不足
致シマシテモ、其ノ緩和ノ途ニ副フデヤナ
イカ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ツテ居リマス
○丸山鶴吉君 陸軍當局トシテハ御尤ナ御
答辯デアリマシテ、農林省アタリデ米穀政
策上支障ガナイト云フコトデアリマスレ
バ、直接軍事ニ必要ナルモノガ併セテ出來
ルコトニナリマスレバ、ソレヲ歡迎サレマ
スト云フコトハ、是ハ能ク諒承致スノデア
リマス、唯私共ハ既ニ内地ニ於テ三百萬石
ノ増産計畫ヲ立テラレ、朝鮮ニ於テ三箇年
ニ二百萬石ノ計畫ヲ立テラレテ、サウシテ
ソレノ豫算ヲ要求セラレ、既ニ決定ヲ致シ
テ居ルノデアリマスガ、今日ニナリマシ

テ又情勢ノ變化ニ基イテ、是デハ危險

ノ虞ガアルト云フノデ、俄ニ内地デハ百
萬石ノ増産ヲ企テラレ、又ソレ以外ニ
朝鮮ト臺灣ニ於テ百萬石ノ増産ヲ御計畫ニ
ナリ、勿論農林當局ガ主管當局トシテ
戰時ノ食糧政策ニ御苦心ヲサレルト云フコ
トハ尤ダト思ヒマスガ、サウ云フ矢先デア
リマスカラ、私共ハ今戰時食糧確保ト云フ
問題ニ付キマシテ心配致シテ居ル關係上、
色々質問應答ヲ重ネテ居リマシタノデスガ、
陸軍當局トシテハ、主務省デアリマス農林
省ガ戰時食糧ノ確保ニ差支ガナイト云フコ
トニナリマスレバ、此ノ案ニ依ツテ更ニ軍事
ニ必要ナル臺灣ノ特有作物ヲ獎勵サレルト
云フコトデアリマスカラ、ソレヲ御認ニナ
ルト云フコトハ、是ハ當然ナコトダト思ヒ
マス、ソレダケノ御意見ヲ承リマシテ、私
ノ陸軍當局ニ對スル質問ヲ終リマス
○委員長(侯爵大隈信常君) 此ノ場合陸軍
ニ對スル御質問ガアリマスナラバ……別ニ
ゴザイマセヌカ……昨日御要求ニナリマシ
タ農林大臣、拓務大臣ハ衆議院又ハ豫算總會
等ニ於テ差支ガアツテ、今日ハ出席出來ヌヤ
ウデアリマシテ、明日ハ揃ツテ出席スルト云
フコトデアリマスカラ、ドウゾ其ノ方ハ明
日御質問願ヒタウゴザイマス、其ノ他ニ關

シテ御質問ガアリマスレバ、ドウゾ……如

何デスカ、別ニ今御質問ガナイヤウデゴザ
イマスガ、豫算ノ重要ナルモノモアルヤウ
デアリマスカラ、豫算會議ヲヤツテ居リマス
カラ、我々モ委員ノ一人デアリマスカラ、
アチラノ方ニ参リタイノデ、一時休憩致シ
マシテ午後一時半カラ開會致シタイト思ヒ
マス、ソレデハ休憩致シマス
午前十時三十六分休憩
午後一時四十一分開會
○委員長(侯爵大隈信常君) 開會致シマス、
今朝申上デマシタ通り農林大臣、拓務大臣
ハ明朝御出席ニナリマス、總務長官ハチヨッ
ト外ニ御出デニナツテ、直キニ御出デニナリ
マス、外ノ政府委員ガ御出席ニナツテ居リマ
スカラ、政府委員ニ對スル御質問ヲ此ノ場
合願ヒタイト思ヒマス
○松村眞一君 私度々質問致シテ居リマ
スノデ、成ルベク一渡リ外ノ委員ノ方々カ
ラ御質問願ヒマシテカラ、私致シタイト思
ヒマス、餘リ出シヤバルヤウデゴザイマス
カラ、御質問ガ皆サンニゴザイマセヌヤウ
ニナリマシテカラ、私許シテ戴キタイト思
ヒマス
○委員長(侯爵大隈信常君) 如何デスカ、
ドナタカラデモ御質問ノアル御方カラ願ヒ

マス

○風間八左衛門君 此ノ際材料ヲ一ツ提供願ヒタイノデスガ、此ノ臺灣重要産業調査委員會ノ何ト申シマスカ、速記録ノヤウナモノガオアリニナルヤウナコトヲ聞クノデアリマスガ、之ヲ我々ニ御配付ヲ願ヘバ、過日カラ色々各委員ノ方々ノ御質問應答モ承ッテ居リマスガ、尙ソレヲ拜見スレバ、質問致シマスヤウナ場合デモ、或ハソレニ依ッテ能ク了解サレル點モアラウト思ヒマスノデ、審議上非常ニ便利カト存ジマスシ、我我モソレヲ能ク拜見シタイ、斯ウ思ヒマスノデ、成ルベク早く我々ニ御配付ヲ願ヘバ結構デアリマス

○政府委員(田端幸三郎君) 早速御配付スコトニ致シタイト思ヒマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 餘リ外ニハ御質問ガナイヤウデアリマスガ、松村君如何デスカ

○松村眞一郎君 私茲ニ要求ヲ先ニ致シマシタ資料トシテ皆サンニ之ヲ御配付ヲ願フタノデスガ、其ノ資料ハ水田ニ全部水稻ヲ植栽セシムル場合ニハ米ノ生産高ハ幾ラニナルカト云フノト、ソレカラ現在水田中ニ已ニ栽培セル水稻以外ノ作物ハ將來トモ其ノ儘持續セシムル場合ノ生産高如何、ソレ

カラ將來有要作物栽培ヲ水田ニ奨励スル場合ノ米ノ生産高如何ト云フヤウナコトノ比較表ヲ茲ニ作ッテ戴イタノデアリマス、ソレデ私ハ前回ニモ申シマシタ如ク、米ノ管理ト云フモノガ同時ニ農林省ト臺灣總督府ト御相談ノ際ニ於テ急速ニ米ノ増産ヲシテ貴ヒタイト云フ場合モアルドラウト思ヒマス、ソレカラ臺灣ハ一期作、二期作ト兩方アルト云フ便利ガアリマスカラ、一期作ト二期作ト見タ場合ニ、二期作ノ方ガ丁度内地ノ米ト同ジヤウニ出テ來ル譯デアリマスガ、其ノ總額ヲ見テ、ドウモ來年ノ端境期迄ニハモウ少シ米ガアッタ方ガ便利デアルト云フコトヲ眺メタ場合ニ、臺灣ニ註文シテ一期作ヲ大變作ッテ戴ケバ、内地ノ端境期ノ心配ガナクナルト云フ意味ニ於テ非常ニ伸縮力ヲ持ッテ居ル便利ナ關係ガ臺灣ニアルト思フノデアリマス、其ノ關係カラ私ハ資料ヲ要求シテ、サウシテ出シテ貰ッタノガ、全部水稻ニ置キ換ヘテ貰ッタラドウカ、是ハ斯ウ云フコトハナイノデス、何モカモ水稻ニスルト云フコトハ水田ニ付テ行ハレナイノデアリマスケレドモ、非常時對策トシテ食糧ニ一ツ集中シテ見ヨウト云フ場合ニドノ位ノ能力ヲ發揮シ得ルカト云フ表ヲ茲ニ貰ッタノデアリマス、ソレハ千四百二十五萬石ト云フモノガ

出來ル、斯ウ云フ風ニ、斯ウ云フモノヲ御出シニナッタノデアリマスガ、是ハ甲當リ幾ラト云フ標準デアリマスガ、私ガ要求シテ居リマスノハ、是ハ其ノ「マキシマム」ヲ見タイノデスカラ、條件ノ無茶苦茶ニ好イコトヲ私ハ要求シマセヌケレドモ、昭和十三年度ハ相當ニ實績ガアルノデスカラ、好イヤウナ「ファクター」ヲ入レテ、餘リ何デモカソデモ好イモノト云フコトハ、ソレハイケマセヌカラ、十三年度ノ先達テチョット其ノ點質問シテ置イタノデスガ、御答辯ヲマダ承リマセヌガ、何ガ故ニ十三年度ハ斯クノ如ク米ノ方ノ第一期作ガ豐作デアッタカ、蓬萊米ニ付テ……其ノ豐作ノ中水稻ノ方ハ非常ニ豐作デアルケレドモ、陸稻ノ方ハ甚ダ不作デアルト云フコトノ理由ヲ茲ニ一應説明シテ戴キタイノデス、其ノ説明ヲ承ルト同時ニ、私ノ今申シタ如ク段々耕種方法ナリ、品種ノ改良ナシカ進ンデ來テ居ルコトヲ頭ニ入レタ意味ノ増産ノ「マキシマム」ガドノ位ニナッテ居ルカ、サウシテ水田ニ對シテ是カラ色々水田施設ヲナサル譯デアリマスカラ、ソシナコトヲ考ヘタ場合ノ「マキシマム」ハドノ位デアルカト云フコトヲ承知シタイノデアリマス、私ノ戴キマシタ表ハ、ドウ云フコトヲ「ファクター」ニシテノ千四百

二十五萬石ニナルノデアリマスガ、ソレヲ明瞭ニ説明シテ戴キタイ、是ハ皆サンニ御配付ニナッテ居ル書類デス

○政府委員(田端幸三郎君) 今後殖エマースル土地ニ他ノ作物ヲ導入シナイデ、水稻ノミデヤルト致シマシタ場合ノ昭和二十四米穀年度ニ於ケル總生産高ガ今松村委員ノ御話ニナリマシタヤウニ千四百二十五萬二千二百九十石ト云フコトニナルノデアリマス、ソレハ單位當リヲドウ見テ居ルカト云フ御尋デアッタヤウニ考ヘルノデアリマスガ、ソレハ米穀管理ニ依リマスル米初メ各有用作物ノ増産計畫ヲ立テテ居リマスノデ、其ノ單位當リノ收量ヲ加算シテ居ルノデアリマシテ、昭和十四年ノ二期作デハ十二石九斗デアリマス、ソレカラ昭和十五年ノ第一期作ハ十五石六斗デアリマス、ソレカラ十年ヲ經過致シマシテ、昭和二十四米穀年度ノ中デ昭和二十三年ノ二期作ガ十五石一斗デアリマス、ソレカラ昭和二十四年ノ一期作ガ十七石八斗ト云フ單位收量ニナッテ居リマシテ、是ハ過去ノ五年ニ互リマシテ調べタ豐凶考照試驗ト云フノヲヤッテ居ル譯デアリマス、其ノ結果ト、ソレカラ最近ノ其ノ五年ノ中ノ最低最高ヲ除キマシタ三年平均ノ豐凶考照試驗、ソレカラ過去三年ニ於

ケル實績ト比較シマシテ、今後十年間デ其ノ半分ニ迄持ツテ行カウト云フコトデ、各年度一年々々其ノ半分ノ十分ノ一ヲ増スコトニナツテ居リマシテ、ソレガ二十四米穀年度ニ於キマシテ、丁度今申シマシタヤウニ二十三年ノ二期ガ十五石一斗ニナリマシ、二十四年ノ一期ガ十七石八斗ト云フコトニナツテ居ル次第デアリマス

○松村眞一郎君 其ノ説明ハ分リマシタ、

私ノハ「マキシマム」ヲ見テ水稻ノ將來ニ對シテ我々ガドノ程度ニ安心シ得ルカト云フ資料トシテ茲ニ眺メタイノデアリマスカラ、成ルベクソレヲ最近ノ實際ト學術ノ最新ノ所ヲ加ヘタモノヲ眺メルト云フコトガ、此ノ委員會トシテ非常ニ必要ダト思フ、日本ノ米穀ノ將來ガ不安ナリヤ安定ナリヤト云フコトガ、我々ノ頭ニ非常ニ重大ナ問題デアリマス、農林大臣ガ、ドウ云フ所ヲ見テ臺灣ニ御頼ミシタカ、臺灣ガ引受ケタト云フコトヲ農林大臣ハ、ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、是ハ農林大臣ニ質問シマスケレドモ、ドウ云フヤウナ資料ニ依ツテ臺灣總督府ト農林省トノ間ニ交渉ガ出來テ居ルカ、唯臺灣總督府デ言フタカラソレデ宜イト云フヤウナ意味デハナイト思フ、ソレヲ私ハ承知シタイ、前途ノ見透シヲドノ位シ

テ居ラレルカ、内地ノ見透シハ農林省デ聞イテ居ル、臺灣トシテハドノ位ノ覺悟ヲシテ居ルカ、農林大臣ガ註文サレルト云フコトニ關係ナク、凡ソ臺灣デオ仕事ヲ引受ケテ居ル以上ハ、日本ガ非常時ニ際シタ場合ニ、食料トシテドノ位全力ヲ擧ゲタナラバ引受ケルト云フコトハ、アナタノ方ニ覺悟ガアルト思フ、農林大臣ノ註文ガアツテ、サウ云フコトヲ調査シタト云フナラバ迂闊ダト思フ、平生考ヘテ居ルト思フガ、平生ノ資料ガ無いノカドウカ知りマセヌガ、無ケレバ早速拵ヘナケレバイケナイシ、是カラ拵ヘルヤウナコトデハ、米ニ付テ緊張シタ研究ヲシテ居ナイデヤナイカト云フコトヲ言ハザルヲ得ナイガ、ドウ云フヤウニ考ヘテ居ラレルカ、前途ノ見透シト云フモノハ……日本全土ノ食料問題ト云フ立場カラ臺灣ハ、臺灣トシテノ使命ヲ果ス爲ニ色々有用作物ヲ加味シテヤルト云フコトハ、或意味ノ當面ノ問題デアリマス、將來ニ互ル間題デアルケレドモ、非常時ノ非常時ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、ソレガ安心スル所ノ最後ノ肚ノ決メ所デアルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ私ハ斯ウ云フ資料ヲ要求シタノデアリマス、サウ云フ本當ニ安心ノ出來ル……是ハ内輪ニ見積ツテ居ル

ノデアルトカ、ナントカ云フ御答辯ヲ承ルト云フト、或意味ニ於テハ大事ヲ取ツテ居ルト云フコトガ言ヘマス、或ル意味ニ於テハ甚ダ確信ガ無いデヤナイカト云フコトニモ取レルノデアリマス、サウ云フコトノ不必要ナル「マージン」ヲ取ル必要ガ無いと思フ、責任ノ衝ニ當ツテ居ル者ハ間違ト云フコトガナイヤウニ大事ヲ取ルコトハ必要デセウ、ソレハ自己ノ責任ノ議論ヲシテ居ルノデアツテ我々ハサウ云フ答辯ハ要求シナイ、アナタハサウ云フ大事ヲ取ルカモ知レマセヌガ、大事ヲ取ラナイ人モアルカモ知レマセヌ、ソコハ不必要ノ「マージン」ヲ取ツタナラバ非常ニ數量ガ少ナル、非常ニ樂觀ヲシテ總テ害蟲モ無い、天候モ好イノダト云フコトデ極端ナ樂觀ヲスル人モアル、人ノ中ニハソシナモノヲ示サレテモ困ル、個人的ノ職責ヲ全フスベキヤ否ヤト云フコトノ意味ニ於テ、大イニ努力ヲ拂ツテ居ルカ、ナントカ云フヤウナ答辯ヲ聽イテ居ルマスガ、先刻來聽イテ居ルト尤モノヤウデアルケレドモ、今云ツタヤウナ感じヲ私ニ與ヘル、モウ少シ確信ノアル、是ダケハ引受ケルノダ、努力ヲシナケレバ出來ナイト云フヤウナコトハ當リ前ノ話デアリマス、自己ノ全能力ヲ擧ゲテ努力スルコトハ當然デ、

色々努力シナケレバ出來ナイト云フコトハ、平生努力シテナイカノ如キ感じヲ與ヘル譯デアリマス、全力ヲ擧ゲテ努力シテ行ツテ出來ルカ出來ナイカト云フ問題デアツテ、困難デアルカ容易デアルカト云フコトヲ質問シテ居ルノデアリマセヌ、出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、困難ト云フ形容詞ハ要ラナイ、出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、是ガ容易ナコトデアアルカ、困難デアアルカト云フヤウナ生溫イコトヲ私ハ質問シナイ、アナタハ困難デアアルカモ知レマセヌガ、他ノ人ハ容易デアアルカモ知レマセヌ、法律ヲ學シダ人ニ米ガ直グ出來ルカト云フト困難ダト云フデセウ、農學ニ通ジタ人ハ俺ハ出來ル、何デモアリマセヌト云フデセウ、ソシナコトヲ聞イテ居ルノデヤナイノデス、私ノ伺ツテ居ルノハ……ドウモ質問應答ガソシナ所ニ觸レテ居ル虞ガアル、アナタガ不安デアアルナラバ、技術者ト相談スルガ宜イ、確信ヲ持ツタ遠慮ノ無いハッキリシタ見透シヲ示シテ戴キタイ、是ハ農林大臣ニ質問スル資料トシテ非常ニ必要ナ資料デアアル、農林省ハドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ、農林省自身モ何カ干與シテ居ルト云フコトガ、丸山委員ノ御質問デ分ツタガ、臺灣デハ一體

ドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ、出先デハ、アナタ達ハ農林省ト相談シテ居ルガ、臺灣本島ニ於テハドンナ調査ヲシテ居ルカ、米ニ付テドウ云フコトヲシテ居リマスカ

○政府委員(岡端幸三郎君) 今松村サンノ御話ニ依リマシテ、早速所謂非常時ノ對策ト致シマシテ、ドノ位迄臺灣ガ將來確實ニ増産シ得ルト云フ數字ヲ出シマシテ、後刻提出致スコトニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ増産計畫ニ付キマシテハ、コチラダケデハ判リマセス、ソレハ向ウニ言ウテヤリマシテ、今地方廳及ビ農會等デ十分研究ヲ進メテ居ル譯デアリマス、其ノ事項ニ付キマシテハ先般申上ゲマシタヤウニ、所謂今迄中止シテ居ッタ増産計畫ノ施設ヲ、更ニ力ヲ入レテヤルト云フコトニ進ミタイト思ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ十三年ノ一期、二期及ビ陸稻ニ付テノ作柄デアリマスガ、十三年ノ第一期作ハ苗代時代カラズツト天候ガ順調ニ參リマシテ、成育狀態モ非常ニ良ク順調ナ經過ヲ辿ッタ譯デアリマス、殊ニ一期ニ最モ影響ノ多イノガ稻熱病デアリマスガ、稻熱病ノ被害ガ幸ヒ少カッタノト、天候ノ順調ニ惠レマシテ相當豐作デアッタ譯デアリマス、ソレニ反シマシテ陸稻ノ方ハ、非常ニ高溫過照ト云フ關係デ旱魃

ヲ被ッタノガ非常ニ多イノデアリマス、旱魃ノ被害ノ爲ニハ、殆ド水田ト反對ニ收穫ガ著シク減タッタ云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ稻作モ植エ附ケテ間モナク一時曇天ガ續イタリ、或ハ低溫寡照ト云フヤウナコトデ成育ヲ非常ニ阻害シタノデアリマス、九月頃カラ段々持直シマシテ氣溫モ上リマスルシ、日照モ順調ニ參リマシテ、其ノ後順調ニ進ンダ譯デアリマス、而モ二期作ニ最モ影響ノ多イ螟蟲ノ發生モ極ク地方的ニ輕微デアリマシタ、ソレカラ一番收穫ニ影響ノ多イノガ季節風デアリマス、是モ比較的平年ヨリ季節風ノ始リガ遅クナリマシテ、左様ナ關係カラ增收トナッタ譯デアリマス、要スルニ害蟲ガ比較的輕微デアッタノト、天候ノ關係ガ非常ニ良カッタ、ソレカラ季節風モ例年ヨリモ遅ク始ッタト云フヤウナ關係カラ一時憂ヘル傾向モアリマシタガ、幸ヒ大體ニ順調ニ參リマシテ、相當ノ成績ヲ擧ゲタコトニナッテ居リマス

○松村眞一郎君 私ハ、此ノ米穀管理案ヲ契機トシテ臺灣ニ計畫的増産計畫ヲ樹立スルノデアル、或意味ニ於テ生産ノ調節ト云フ所ノ使命ヲ達成スルコトノ是ガ、一ツノ端緒デアリ得ルデアラウト云フヤウナ考ヘ方ヲシナガラ質問シテ居ル譯デアアルガ、斯ウ

云フ計畫的ニ米ト云フ主要産物ニ付テ著手スル以上ハ、全體ノ生産計畫ト云フモノガ、同時ニ私ハ始終調査サルベキ必要ガアルト思ヒマス、先程申シタノハ、全部ノ耕地ニ米ヲ植エタ場合ニハドウカト云フコトハ、是ハ將來ノ見透シノ問題ヲ言ッテ居ルノデ、或意味ニ於テ云ハバ合理的豫言ト言ヒマスカ、ソシヤウナコトニナル、是ハマア將來ノ見込ノ問題デアリマスガ、私ハ年々サウ云フコトヲスル必要ガアルト思フ、今年ドウ云フ作附ガアッタト云フコトヲ、第一期米ナリ第二期米ナリガ濟ンダラ直グニ各農會ト云フヤウナモノヲ動員スル、地方廳ヲ動員スル、サウシテ作附面積ハ、ドウセサウ云フコトハ平生カラヤルノデスカラ、其ノ作附面積ノ中ドレハ……例ヘバ私サッキ申シタヤウナ工合ニ、一期作ニ於テ直グニ、非常對策ト云フ程ノエライ緊切シタ場面デナイ時ト雖モ、置キ換ヘ得ルカト云フヤウナ調査ハ直グヤツテ置カナケレバナラナイ、國家産業總動員ト云フヤウナ思想ガ、サウ云フモノガナケレバ動イテ來ナイト思フ、ソレハドウ云フ意味カト云フト、先程申シタ如ク、第一期作ニ今度米ヲヤルカ、ヤリ得ルカト云フコトニ付テ考ヘレバ、例ヘバ甘蔗ニ付テ考ヘレバ、ソレガ新植デア

ルカ、所謂糊仔デアルカ、其ノ次ノ株出デアルカト云フコトヲ先ヅ見レバ、已ニソレガ株出ノ狀況ニ入ッテ居ルナラバ、其ノ次ノ時期ハ當然水稻ニナルノデスカラ、言フ迄モナク水稻ノ面積トシテ計算シテ宜イ、處方新植ダケヤツテ、今度株出ニナル時期ニ入ッテ居ルモノハ場合ニ依ッテハ止メサシテモ宜イ、ソレハ直グ新植ノ利ク米作ノ面積ニ入ル譯デアアル、色々ナコトヲ棉ニ付考ヘ、亞麻ニ付考ヘ、黃麻ニ付考ヘルト云フヤウナコトヲシテ、其ノ第一期作ノ作附ヲ終ッタ場合ニ於ケル次ノ増産計畫ノ可能性如何ト云フヤウナコトガ直グ出來ルダラウト思フ、ソレハ一期作ガ濟メバ直グニヤル、二期作ガ濟メバヤルト云フヤウナコトハ、米ノ見地カラ見テノ非常ニ必要ダト思フ、ソシヤウナ計畫ヲヤラナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウ云フ用意ヲシテ居ッタカ存ジマセスガ、シテ居ラナケレバ、サウ云フコトヲヤラナケレバ意味ラナサヌト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ見地ニ於テ考ヘテ見マスト云フト、米ノ管理ニ乗出スト云フコトハ、非常ナ決心ヲ以テ意義アル計畫經濟ニ進ムベキ統制的ノ施設ダナケレバナラヌト思フ、ドウ云フヤウニ考ヘテ居レマスカ、此ノ將來ノ對策トシテハ長官ドウデスカ

○政府委員(田端幸三郎君) 専門的ニ互リ

マスルノデ、私カラ御答ヘサシテ戴キタイ
ト思ヒマスガ、大體此ノ計畫ニ依リマシ
テ、米、砂糖ヲ中心ニ致シマシテ各農作物
ヲ調整シテ、圓滿ナル産業ノ發展ヲ致シタ
イト云フコトデ進シデ居リマスルノデ、勿
論今ノ御話ノヤウナコトヲ常ニ考ヘ、又實
際ヲ調査致シマシテ、大體計畫ノ通りニ行
クカト云フコトヲ、無理ノ行カヌヤウニ、
而モ計畫ニ合フヤウニ、進メタイト思ッテ
居ルノデゴザイマス、元來之ヲ最モ正確ニ
ヤルト云フコトニナリマスレバ、或ハ耕地
ノ割當制トカ、或ハ強制栽培ト云フヤウナ
コト迄行ク必要ガアルカモ知レマセヌ、サ
ウ致シマスルコトハ此ノ個々ノ農家ニ對シ
マシテ非常ニ強ク當リマスルノデ、矢張り
一方ニ於テ米穀ノ管理ヲシ、一方ニ於テ糖
業令ニ依リマシテ、而モ臺灣ハマダ農業ノ
發達ト申シマシテモ、内地邊リニ較ベマシ
テ、殊ニ畑地ノ利用ト云フヤウナモノニ付
キマシテハ、甚ダ幼稚デアリマシテ、米ヲ
多角のニ伸ス必要モアリマスシ、尙立體的
ニ伸ス餘地ガ澤山アリマス、言ヒ換ヘマス
レバ、指導如何ニ依リマシテ幾ラデモ伸ビ
得ルガアル、斯ウ云フコトガ言ヒ得ル譯
デアリマス、更ニ言ヒ換ヘテ見マスレバ、

マダ指導力ガ足りナイ、或ハ研究所等ノ機
關モ充實シテ、一層耕種法其ノ他ニ付テモ
徹底的ニ研究スル、或ハ地方職員ナリ農會
アタリノ職員モ漸次殖シマシテ、能ク徹底
スルヤウニシテ置クト云フヤウナコトニナ
リマスレバ、一層生産力ヲ擴充シ、又從ッテ
反當リノ收量モ上ゲ得ルノデアリマス、サ
ウ云フ點ハマダ力ヲ入レル餘地ガ澤山アリ
マスノデ、サウ云フヤウナ指導ト相俟ッテ漸
次計畫ニ導イテ行ク、又一面各地方ニハ最近
部落ヲ單位ニ農事實行組合ヲ各州ニ互リマ
シテ極力普及シテ居ル譯デアリマス、是ガ
所謂農村ノ細胞トナリ、活動ノ單位トナリ、
源泉力トナルト云フヤウニナッテ居リマシ
テ、之ヲ益、單位ノ活動ヲ促進致シマシテ、
コチヲノ方針ト指導力ノ充實ト、是等ノ單
位デアル、農村ノ單位デアル實行組合トノ
努力ト相俟ッテ、大體豫定通り遂行シ得ルト
思フ譯デアリマス、尙サウ云フコトデ進ミ
タイト思ッテ居ルノデアリマス、尙十四年度
ノ豫算ニ水田ノ地圖ヲ作成致シタイト思ッ
テ居ルノデアリマシテ、ソレニ六萬四千圓
ヲ計上シテ居ル譯デアリマスガ、畑ニ付キ
マシテハ尙立體的ニ集約のニ指導スルト共
ニ、今後増設シテ増シマスル水田ニ付キマ
シテハ、米ノ外ニ他ノ作物ヲ入レマスル關

係カラ、其ノ田ガドウ云フヤウニ利用サレ
テ居ルカト云フコトモ、能ク實況ガ分ルヤ
ウニ調査ヲ進メタイト思ヒマスノデ、色々
斯ウ云フ事項ニ依リマシテ大體計畫性ヲ確
實ニスルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、併シ是等ニ付テモ尙十分研究致シマ
シテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ル
次第デアリマス

○松村眞一郎君 私ハ只今御話ニナッタ中
ノ強制割當トカ、耕地ノ強制割當デアルト
カ、強制栽培ト云フヤウナ如キ、手ヲ取ッテ
直チニ物ニ突附ケルト云フヤウナヤリ方ハ
私ハ要求シテ居ルノデハナイ、内地ノ米ガ
出來過ギテ困ル場合ニ作附反別ヲ減反スル、
減ズル、所謂減反問題ト云フモノガ内地ニ
起ツコトガアル、ソシナヤウナ態度ハ私ハ
宜クナイト思フ、サウ云フヤウナ考ヘ方ラス
ルト云フコトハ、農業ニ對シテ甚ダ自治的
ノ指導方針デハナイノデアッテ、壓迫的ノト
言ヒマスカ、其ノ思想、指導方針ニナリマ
スカラ、私サウ云フヤリ方ハイカスト思ヒ
マス、ソレヨリモ作ラムトスル方ノ、詰リ
米ガ足り過ギル場合ニハ米ヲ止メルト云フ
議論デナクテ、甘蔗ヲ作レト云フ方カラ積
極的ニ指導スベキモノデアッテ、減産、減ト
云フ思想ガイカヌト思フ、此ノ管理問題ニ

付テモ私申シテ居ル、積極的ニ眺メテ、米
ガ要ラナイナラバ要ラナイモノハ止セト云
フ思想デハナイ、其ノ耕地ニ砂糖ヲ作レト
云フコトハ米ヲ止メルト云フコトト同ジデ
アリマスガ、併シ考ヘ方違フ、米ヲ止シ
タイト云フノデ作ルノデハナクシテ、甘蔗
ノ方ガ今ハ順位ガ先ニナッテ居ルカラ、作ル
ト云フ思想デナケレバ、本當ノ農業指導ハ
出來ヌト思フ、ソレニ付テ一番適當ナコト
ハ水利ト云フコトガ一番適當デアアル、米ノ
出來サウニモナイヤウナ工合ニ、甘蔗ガ出
來ルヤウニ水利ヲヤレバ、ソレハドウシテ
モ自然ニサウナル、サウ云フヤウナ意味ニ
於テ、新シク水利ヲアタナクノ方デ計畫スル
場合ニ水利統制ヲ頭ニ置カナイデ、今度色
色ノ水利開發ヲシテモ私ハ宜クナイト思ヒ
マス、是ハ豫テノ私ノ持論デス、水利統制
カラ行カンコトニハ、臺灣デハ決シテ臺灣
デハ減産シナイノデアアルガ、耕地ヲ開拓シ
テ、是カラ水利事業ヲヤルノデアルト云フ
コトニ對スル民間ノ反對説トシテハ、臺灣
ハソシナニ水ガ澤山アル所デハナイノダ、
第一嘉南大圳ニ於テ十五萬甲歩ト云フモノ
ヲヤラウト云フ場合ニ、全體ノ水利ガ出來
ナイデヤナイカ、已ムヲ得ズ三分ノ一ノ五
萬甲シカ出來ナイデヤナイカ、水ガ足リナ

イデヤナイカト云フ思想ガアル、是ハ水ノヤリ方ニ依ッテドウデモナルガラウト思フ、有用ニ水ヲ使フト云フ方法、貯水池ヲ造ルトカ、水利計畫トシテハ色々アル、内地ヨリモ臺灣ノ方ガ熱帶地デアルガ故ニ、直グ蒸發シテシマフ、折角雨ニ惠マレタ水ハ直グナクナッテシマッテ、所謂看天田ト云フモノガ出來テ、固イ所ヘ米ヲ作ラナケレバ、ナラスト云フコトデ非常ナ問題ガ起ッテ、砂糖會社ガ「ヒース、ブラウト」云フモノヲ使ッテ耕地ノ開拓ヲシテ居ルト云フコトデ、施設ヲ臺灣總督府ソレ自身ガヤラナクテハナラスト思フ、農林省ハ農務局ノ試驗研究ハシテ居ル、併シナガラ内地ハ耕地ガ非常ニ集約的デアッテ、狭イノデアルカラ、機械的ノ作業ガ出來ナイガ、前回ノ御説明ニ依ルト、臺灣ハ一人當リノ耕地面積ガ廣イト云フコトデ、其ノ意味ニ於テ機械的ノ作業モ出來ル譯デアリ、色々便宜ナコトモアラウト思ヒマス、唯臺灣ハ熱ト光ニ惠マレテ居ルト云フ簡單ナコトデナク、農業經營ニ於テ私ハ或意味ニ於テ惠マレテ居ルト云フコトガ言ヘルト思ヒマス、臺灣ノ農民ノ生活狀態ガドノ位ノ程度ノモノデアアルカト云フコトハ、臺灣ノ諸君ガ内地ノ東北トカ云フ方面ヲ少シ御覽ニナルト宜イト思ヒマス、ドノ

位臺灣ノ農民ト内地ノ農民トノ間ノ生活狀態ガ違フカ、サウ云フコトヲ色々實感サレタナラバ、臺灣ニ於テ新シク所謂產業總動員政策ト云フモノヲヨリ強イ覺悟ヲ以テヤルト云フコトガ茲ニ使命ト認メラレテ來ルノデハナイカト私ハ思フ、サウ云フ關係ニ於テ水利ノ問題ヲ閑却シテ居ルト云フヤウナコトデハ、到底私ハ本當ノ生産ノ確立等ハ出來ルモノデナイト思フ、處ガ此ノ水利ノ問題ハ殖産局長カラ説明ヲ聽イテモ是ハ仕方ガナイノデアッテ、是ハ臺灣ニ於テハ殖産局ノ所管デナイ、内務局ノ所管デアルガ、斯ウ云フ官廳ノ間ニハ繩張りガアッテ、權限ヲ爭フト云フ意味デナク、責任ヲ背負フト云フコトカラ、サウ云フコトガアル、ソレハ總督アタリガ水利ノ必要ナルコトヲ思ハレタナラバ、相當考慮セラレルベキデナイカト思フ、ソレハ日本デモ「ジャバ」ノ灌溉事業ニ付テハ非常ニ進ンデ居ルノデアアルガ、砂糖ニ付テハ色々材料ト云フモノハ、「ジャバ」ノ試驗場ノモノヲ臺灣デモ今使ッテ居ラレル譯デ、臺灣ノ甘蔗ト「ジャバ」ノ試驗場ノ甘蔗ヲ對照シテ、始終ヤッテ居ル程「ジャバ」ト臺灣トハ水利關係ニ於テモ餘程參酌スベキ事項ガ相當アルト思フ、「ジャバ」ノ水利ト云フモノニ付テハ、隨分臺灣ニ於

テモ御存ジデアラウシ、内地ニ於キマシテモ色々研究ガ出來テ居ッテ、例ヘバ九州大學ノ田町正譽教授ガ「ジャバ」ニ於ケル灌溉事業ト云フコトニ付テ、昭和十三年農業土木研究第十卷ノ第一號乃至四號ニ亙ッテ、記述セラレテ居リマス、サウ云フモノヲ見テモ、如何ニ水ノ調節ニ依ッテ農業經營ト云フモノガ巧ニ行クカト云フコトガ證明セラレテ居ルトスレバ、十五萬甲歩ト云フヤウナモノヲ總メテ水利ガ出來ルト云フヤウナ、サウ云フ便利ナ地位ニアル臺灣ハ非常ニ仕合せデアル、今後ハソシナニ澤山繼ッタ所ハナイカ知レマセスガ、併シ小サイカラト云ッテ統制ガ出來ヌコトハナイノデ、水利統制ニ付テ何等カ其處ハ考ヘル必要ガアルト思フ、ソシナコトニ付テドウ云フコトヲ考ヘテ居ラレルノデスカ、ソレハ私ハ長官ノ説明ヲ求メテ居ルノデスカ、局長カラ答辯サレマスカ、長官ドウデスカ

○政府委員(森岡二朗君) 水利ノ統制及ビ擴充強化ト云フコトハ、只今仰セノ通り最モ大切ナコトデアリマシテ、殊ニ臺灣ノ如キ所ニ於キマシテハ、水利ノ統制ガ不十分デアリマスル點ニ於キマシテモ特ニ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、殊ニ米穀管理ガ實施セラレル後ニ於キマシテハ、特ニ水利施設ノ上ニ於キマシテ、統制ガ其ノ根幹ヲ成スモノダト云フコトヲ深ク感ジテ居ル次第デアリマシテ、其ノ爲ニ、十四年度豫算ニ於キマシテハ水利統制ヲ目標ト致シマシテ或ハ埤圳ノ調査或ハ流量調査ト云フヤウナコトニ付キマシテ約七百七萬圓餘ヲ計上致シ、決議ヲ經マシタヤウナ次第デアリマシテ、之ニ依リマシテ水利ノ統制ヲ圖リ、一面從來ニ於ケル統制ノ足りナイ點ヲ十分ニ統制致シマルト共ニ、特ニ米管實施後ニ於キマシテ其ノ根幹ヲ成スヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○丸山鶴吉君 折角有益ナル質疑應答ガアルノデゴザイマスガ、席ニ御著キニナッテ居ル委員ノ數ハ半數モナイ位デ、只今丁度豫算總會ノ方デハ祕密會デ、海軍大臣ノ重要ナ御意見ノ發表ガアルヤウデ、速記録ニ殘ルモノデゴザイマスレバ、後カラ讀マレルノデアリマスガ、祕密會デアリマスカラ、此ノ程度デ或ハ休憩ヲシテ戴イテ、後デ續行ヲシテ戴キマスカ、サウ云フ取計ヲヒヲシテ戴キタイ

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ休憩致シマセウ、豫算總會ノ祕密會ノ濟ミ次第ニ始メルト云フコトニ致シテ宜シウゴザイマスカ、如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵大隈信常君) デハサウ云フ
コトニ致シマス、一時休憩致シマス

午後二時十七分休憩

午後三時十八分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデヤ開會
致シマス

○松村眞一郎君 先程水利ノ問題ニ付テ御
尋ネシタノデアリマスガ、其ノ答辯ハ大體
終了シタ譯デスカ

○政府委員(森岡二朗君) 先程御答ヘ致シ
マシタ通りデアリマス

○松村眞一郎君 次ニ臺灣ニ於テノ先ヅ食
糧問題ヲ觀點ト致シ、食糧問題ニ立脚シテ
考ヘ、尙特用作物ヲ獎勵サレルト云フコト
ニ付テ考ヘマシテノ一ツノ要項トシテ、私
ハ官有財産ノ決算委員會ノ時ニモ官有財
産ノ關係デ蕃地ノ問題ヲ承ツタノデアリマ
スガ、ドウモ蕃地ヲ開發スルト云フコトニ
付テノ努力ガマダ足りナイデヤナйкаト云
フ感想ヲ私ハ懷ク、此處ニ色々耕作物ヲ獎
勵スル際ニ當リテ遊シデ居ル土地ガ若シア
リトスレバ、ソレハ許スベカラザルコトデナ
イカト思ヒマス、例ヘバ「イギリス」ガ千九百十
七年ニ「コーン・プロダクション・アクト」ト
云フモノヲ出シテ、土地ヲ遊バシテ置カスト

云フコトニ付テ小麥栽培ノ獎勵ヲヤツテ居ル、
事例ハ澤山アリマス、ソレ程緊切ナコトハ
今日本ニハナイト思ヒマスガ、遊シデ居ル土
地ガ相當澤山ニ於テアルト云フコトニ付テハ
餘程考ヘナケレバナラス問題デヤナйкаト
思フノデアリマスガ、大抵ノ蕃地ハモウ既
ニ歸順ヲシテ居ル譯デアリマス、其ノ蕃人
ガ昔ノ切替畑ノヤウナヤリ方ヲシテ居ル狀
態ニ對シテ、耕作ヲ教ヘルト云フヤウナ方
法ニ付テノ努力ハドウ云フ風ニシテヤツテ
居ラレルノデアリマスガ、例ヘバ物々交換
ヲヤツテ居ル蕃界ノ物々交換所ト云フヤウ
ナモノガアリマスガ、蕃地ト普通ノ行政區
域トノ境界ノ所ニ設ケテアリマス、ソナ
ヤウナ場合ニ於テ何ヲ臺灣ニ於テハ蕃人ガ
要望シテ居ルカト云フコトヲ見タナラバ、
蕃界ニ於テ自給自足ガ出來ルデヤナйкаト
物々交換ヲスル目的物ヲ眺メナガラ、是ハ
蕃界ニ於テ自給自足ガ出來ルデヤナйкаト
云フ指導方針ヲ執ルベキ筈デヤナйкаト私
ハ思フ、同ジ臺灣ニ居リナガラ、交換ヲシ
ナケレバナラスト云フヤウナ狀態ヲ、唯臺
灣ノ人ハ不思議ガラナイイカモ知レマセヌケ
レドモ、我々眺メルト云フト、非常ニ不思
議ニ感ズル、足りナイモノハ廣々トシナ居
ル蕃地ニ於テ耕作シタラ宜イデヤナйкаト
云フコトヲ考ヘル、何ヲ要求シテ居ルカト

云フコトハ私ハ能ク細密ニハ研究シテ居リ
マセヌ、併シ或モノハ蕃地ニ於テ用ヲ辨ズ
ルモノガ私ハアルンデヤナйкаト思フ、自
給自足ヲサセテ……、殊ニ特用作物ノヤウ
ナモノハ或モノハ蕃地ニ於テ作ツテ一向差
支ナイト思フ、ソレハ急激ニヤルコトハ出
來マセヌ、蕃人ノ理解ノアル者ヲサウ云フ
方ニ段々指導シテ行クト云フコトハ非常ニ
私ハ必要ナコトデヤナйкаト思ヒマス、例
ヘバ^{基隆}農場ト云ヒマスガ、サウ云フモノ
ヲ臺灣製糖ガ開拓シテ居ル際ニ、其ノ水利
ノ源ハ蕃界ニ於ケル地下^水ヲ其處ニ取ツテ
居ル、水ノ方ノ關係ニ於テ……、ソレカラ
大キナ農場ヲ開拓スルニ付テハ蕃人ヲ使ッ
テ居ル、サウ云フヤウナ開拓ヲスルコトノ
勞力ニ使ツタナラバ、直チニ蕃界ノ開拓ニ彼
等ガ慣レテ居ル其ノ機械ヲ直グ利用シテ、
サウ云フヤウナコトニ直グニ自分ノ方デヤ
ルヤウナ工合ナ指導ヲヤルト云フコトガ私
ハ當然デヤナйкаト思フ、今日耕地ガ遊シ
デ居ルト云フコトハ許スベカラザルコトデ
アリ、日本全體ニ付テ耕地ヲ出來ルダケ集
約ニ使フト云フコトニナツテ居ル際ニ、ドウ
モ私ハ隨分緩慢ナ現象デヤナйкаト思フ、
國有財産ノ中ニモ蠻地ハ入ッテナイ、ドウ云
フ工合ニシテ入レルノカト云ヘバ、測量モ

能ク整ツテ居ナイノダカラ、出來タ都度集メ
テ入レルノダト云フヤウナ、サウ云フ緩慢
ナ狀態ハ私ハ臺灣總督府ノヤリ方トシテハ
甚ダ手緩イコトヲヤツテ居ルノデハナイイカ、
茲ニ緊切ニ耕地ガ足ラナイノダカラト云フ
ヤウナコトデ開發シテ居ル狀態ニ於テ、耕
地ノ開發ト云フコトハ相當蠻地ニ於テ私ハ
出來ルト思フ、力ヲ入レテ少シ積極的ニヤッ
タナラバ、相當私ハ茲ニ耕地面積ハ開發ガ出
來ルト思フノデアリマス、蠻界ニ於ケル開
發可能面積ト云フヤウナコトニ付テ、全體
ニ付テ調査ヲシナイトシテ見テモ、各地方
地方ニ於テ調査ヲシテ居ルモノガアルダラ
ウト思フ、アレバ、ソレヲ出シテ戴キタイ、
ドノ位ノ開墾ノ見込面積ガアルカ、ソレハ
特用作物ノ或モノハ其處ニ轉換シテ行ッテ
モ宜カラウト思フ、サウ云フ調査ガナシト
スレバ、速カニ私ハヤラナケレバナラスト
思フ、國有財産ニ繰入ト云フコトノ前ニ、
土地ソレ自身ノ狀態ヲ知ツテ居ル筈ダト私
ハ思フ、此ノ耕作問題ハ法律ノ關係ニ於テ
色々面倒ナモノガアルデセウ、或モノハ國
有地ニシテ宜イノデヤナйкаト思フ、サウ
スルト、其處ニ模範的ノ經營ト云フコトハ
出來ルデアラウシ、耕作問題ガヤカマシイ
ヤウナ場合ニ、ドンナヤウナ經營方法ヲヤ

レバ、蕃人モ其處ニ王化ニ露ヒ、且文化モ向上スルト云フヤウナコトガアリ得ルノデヤナイカト思フノデスガ、蕃界ニ對スル農業政策ト云フモノハドンナコトヲ考ヘテ居ラレルノデスカ、從來執リ來タ所ノ政策、將來執ラムトス所ノ政策、ソレヲ承リタイ

○政府委員(森岡二朗君) 只今理蕃政策ト蕃地ノ利用開發ニ付テノ御尋デゴザイマシタガ、所謂蕃人ト稱ヘラレテ居リマシタ高砂族ノ理蕃政策ノ結果ト致シマシテ、漸次精神的及ビ經濟的生活ヲスルヤウニナツテ參リマシタ次第デアリマスガ、以前ノ御承知ノ如キマダ開發サレテ居ラナイ時代ニ於ケル蕃人ノ居住致シテ居リマシタ關係ト致シマシテ、山地ノ方ニ付キマシテハ、只今モ御話ノ土地ノ利用又地上ノ各種生産物ノ利用、或ハ地下埋藏物等ノ調查利用ト云フヤウナコトモ行届カナカッタヤウナ實情ニアルノデアリマス、併シナガラ最近先程申上デマシタ如ク蕃人ノ生活狀態モ漸次改善サレテ參リマシタノデアリシテ、大體ニ於テ今日理蕃政策ト致シマシテハ蕃人が蕃地ニ住居致シテ居リマスル者ヲ漸次山脚地帯ニ移住セシメルヤウニシマシテ、或特定ノ範圍ニ於ケル耕作ニ從事セシメルト云フコトニ致シマシテ、是ハ漸次著々ト進ンデ居

ル次第デアリマス、而シテ移住シマシタアル土地等ノ利用ニ付キマシテモ色々考ヘテ居ル次第デアリマスルガ、昭和十一年カラ四箇年繼續ヲ以チマシテ山地開發調查ト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、而シテ此ノ山地開發ノ調查ヲ致シマシタ結果、ソレノ山地ノ適地適作ヲ考ヘマシテ、或ハ「キナ」、或ハ「カカオ」トカ、色々其ノ土地ニ適應致シタモノヲ作ルコトニ致シマシタ、大體調查ガ濟ミマシタモノヨリ、ソレニ對シテ適地適作ヲ致スヤウニシテ、漸次進ンデ參ッテ居ルノデアリマシテ、昭和十四年度ヲ以テ完成スル積リデアリマスルガ、チヨット面積ハ今正確ニ申上ゲ兼ネマスルガ、相當ノ……二十萬甲歩カ、相當ノ面積ヲ十四年迄ニ調ベルコトニ致シテ居リマシテ、此ノ山地開發ト云フコトニ付キマシテハ非常ニ力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、デ先申上ゲマシタ如ク、蕃人ノ生活モ漸次精神的ニモナリ、經濟的ニモナツテ參リマシタ關係上、或ハ蕃地ニ於テ仕事ヲスル場合ニ於テ蕃人ノ勞力ヲ利用スルト云フヤウナコトモ致シテ居ル次第デアリマス、此ノ山地開發ニ依リマシテ、漸次只今御話ノヤウナ風ノ今日迄殘サレテ居リマスル山地ノ利用ト云フコトガ十分目

的ヲ達成シ得ルコトニ相成ルカト思ッテ居ル次第デゴザイマス

○松村眞一郎君 重要農作物増產目標ト云フモノニ書イテアルノニハ蕃地關係ハ之ニナイモノダト考ヘマスガ、急速ニ蕃地關係ノ問題ヲ茲ヘ加ヘラレテ、之ヲ追加スルナラバ、相當ノ増產ガ出來ルノデヤナイカト私ハ思フ、ソレハ縱令大マカナ計畫デアッデモ、何等カ農作物伸縮力ガ其處ニ來ル譯ダト私ハ思フ、サウ云フコトヲ今迄ヤッテ居ナイノデスカ、ドウデスカ

○政府委員(田端幸三郎君) 此ノ増產計畫ニハ……十箇年ノ増產計畫ニハ全然蕃地ヲ含ンデ居リマセス、今長官カラ申上ゲマシタノハ別ノ調デアリマス、勿論生産擴充ノ必要ナ時代デアリマスルノデ、是等モ最モ有效ニ著々利用致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、計畫外デアリマスルガ、ソレヲ無視シテ居ル譯デハナイノデアリマス

○松村眞一郎君 私ハ只今ノ御答辯ヲ承ツテ、極メテ臺灣總督府ハ緩慢デアルト云フコトヲ痛感スル、蕃地ト云フモノヲ眼ノ前ニ眺メテ居リナガラ、其ノ面積ト云フモノハ臺灣ノ面積ノ半分ニ近イ位アル、ソナモノニ付テ農作計畫ト云フヤウナモノヲ何等考ヘナイ、漠然トシタモノデモ其處ニ描キ出

ス必要ガアルト思フ、殊ニ山地ノ方ハ今森林ノヤカマシイ「パルプ」問題ヲ我々ハ非常ニ考慮サレテ居ル時代ニ於テ、ドノ邊ハ造林ヲスルトカ、大體ノ目標ト云フモノハ私ハアルダラウト思フ、耕地ハドノ位開ケルモノデアアルカト云フコトノ目標ヲ考ヘルコトハ直グ目前ニブラ下ッテ居ル私ハ重要問題デハナイカト思フ、何等カソコニ蕃地ニ付テハコンナヤウナコトノ考慮ハ出來ルト云フヤウナ目標程度ノモノハ何カナイデセウカ、ソレハマア理蕃ノ事業ガ終了シテ餘リ時ガ經タスト云フコトモアリマセウ、併シ全部ガ終了スルノヲ待ツテ、ノソノ調査ヲシテ居ルト云フヤウナヤリ方デハ極メテ緩慢デアッテ、歷代ノ總督府ト雖モ相當力ヲ入レテ居ラレタノデヤナイカト思フ、私ハ佐久間總督時代ニ、昔ノ時代ニ行ツタコトガアルガ、蕃界ガ隘勇線ト云フモノヲ以テズンノ進行シテ行ツテ或程度ソコニ確定スレバ、直グ蕃界ニ付テノ調査ヲ進メナケレバイカヌデヤナイカト私ハ思フ、或ハ色々ナ特用作物トシテ畑地ニ付テノ問題カラ、例ヘテ申セバ「バナナ」ト云フヤウナモノガ非常ナ勢ヲ以テ平地ニ今植栽サレツ、アル、或場合ニ於テ、例ヘバ臺南ノ方面、高雄ノ方面ナドヲ見レバ、實際「バナナ」ノ

如キモノヲ澤山耕地ニ作テ居ル、或モノハ山地ニ持ッテ行ッテモ宜イノデヤナイカト思フ、ソナヤウナコトヲ考ヘレバ、特用作物ニ利用スベキ地面ト云フモノハ、モウ直グ生レテ來ルノデヤナイカト思フ、ソナヤウナヤリ方ガ、如何ニモ私ガ考ヘルト緩慢至極デアルト云フコトヲ痛感スルノデアリマスガ、下ノ程度ノ作物ハ蕃界ニ移シ植エ得ルカト云フ位ノ目途ヲ立テナイト云フコトハ、私ハ甚ダ調査ニ付テノ資料ガ不備デアルト云フコトニ考ヘマスガ、何カ現在アル資料ノ中カラデモ何カ茲ニ描キ出スコトガ出來ルノデヤナイカ、サウ云フヤウナモノガ出來タラ、至急ニ提出願ヒタイデス何カアリマセヌカ、具體的ニ考ヘテ居ラレルヤウナコトガ、コンナヤウナコトハ考ヘテ居ッタト云フ位ノ何カ思附位ハアリサウナモノダト私ハ思フ

○政府委員(田端幸三郎君) 仰セノ如ク、

臺灣ノ蕃地利用ニ付キマシテハ、マダ平地ノ如ク集約的ニ參ッテ居ナイノデアリマス、是ハ申上グル迄モナシニ蕃人ノ平穩ニナッテカラ間モナイコトデアリマスノデ、又急激ニ彼等ノ生活狀態ニ影響スルヤウナ開發ヲ爲スト云フコトモ非常ニ慎重ヲ要シマスノデ、今ノ最モ生産力ヲ擴充セヌケレ

バナラス急迫ナ狀態カラ申上ゲマスレバ、非常ニマヌルイ迂濶ト云フヤウナ狀態ニナッテ居ル譯デアリマス、ソレデ大體御承知ノ通り非常ニ一萬尺以上ノ山ガ中央山脈ニ竝ンデ居ル、數十箇モ竝ンデ居ルト云ッタヤウナ狀態デ、而モ東西ニ非常ナ急ナ傾斜ヲ以テ流レテ居ルト云フヤウナ關係カラ、蕃地ヲ開發スルト云フコトモ餘程考慮致サヌケレバ、國土保安上、又治水上考ヘルベキコトデアリマシテ、大體私共ノ考デハ矢張り蕃地ハサウ云フ畑地等ニ利用スルト云フコトヨリモ、主トシテ植林ラシテ、水源ノ涵養國土ノ保安ト云フヤウナコトニ主眼ヲ置クベキモノデハナカラウカト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、從ヒマシテ、第一期ノ森林調査ハソレニ依リマシテ、伐採ナリ或ハ植樹ト云フコトヲ著々計畫ヲ進メテ居リマスガ、ソレカラ更ニ上ノ頂上ヲ含ンダ方面ノ第二ノ森林計畫ハ、蕃地ノ平定ト共ニ今ソレヲ著手スルコトニナッテ居リマシテ、是モ計畫ニ依リマシテ植樹ヲヤリタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ段々下ノ方面デアリマスルガ、針葉樹林地帶ヨリモ以下ナ行政部落ニ接近シテ居ル方面ノ山地ノ利用デアリマス、是ハ大體今潤葉樹林ガ占メテ居ルノデアリマスガ、臺灣ノ潤葉樹林

ノ利用ト云フコトハ、殆ド今迄薪炭ニスルカ或ハ僅カナ地方的ニ函ヲ作ルト云フヤウナ、極ク利用ガ局限サレテ居ッタノデアリマス、最近材木ノ利用ト云フコトハ、用材ノ外ニ「パルプ」材ニ使フト云フヤウナ所カラ非常ニ緊要ニナリマシテ、臺灣ニ於キマシテモ今迄利用サレテナカッタノヲ其ノ儘ニ放任シテ置クト云フコトガ許サヌヤウナコトニナッテ參リマシタ、是等ニ付キマシテモ十四年度豫算カラ、御協賛ヲ願ッテ豫算ニ依リマシテ、根本的ニ是等ヲ調査致シマシテ、現在ノ潤葉樹林デ「パルプ」等ニ利用サレルモノモ相當アルヤウデアリマス、ソレハ利用シ得ルモノハ爲シ、又最近滿洲北支方面ノ枕木ガ非常ニ需要ガ多イノデアリマシテ、臺灣邊リカラモ相當供給シテ居ル譯デアリマス、或ハ又製法ニ依リマシテ臺灣ノ雜木デモ用材トシテ使ヒ得ル、函材トシテモ相當利用出來ル、或ハ最近内地邊タリデモ盛ニヤッテ居リマスガ、建築用材等ニモ床張ニ作ルトカ云フヤウナコトニモ盛ニ進ンデ居リマス、サウ云フコトモヤリタイ、ソレデ調査ヲ致シマシテ、是等ヲ全部皆伐致シマシテ、其ノ後ニ標高ガ低クツテモ臺灣デ生育致シマス、例ヘバ福州杉デアルトカ或ハ吉野杉デアルトカ云ッタヤウナ、今迄雜木

材デ蔽ウテ居ル方面デモ、是等ノ種類ナラバ、相當森林トシテ生育ガ宜シイノデアリマス、漸次サウ云フモノニ置キ換ヘテ行ク、サウ致シマスレバ、殆ド今迄利用シテ居ナイ、又非常ニ行政部落ニ近イ方面ノ森林地帶ガ是等ノ有用材ニ換ヘルト云フコトニナリマスノデ、十四年度カラ之ニ著手致シマシテ、之ニ基キマシテソレノ伐採計畫ナリ、或ハ植樹計畫ナリ、或ハ之ヲ利用スル「パルプ」製造計畫ナリ、著々進メタイト思ッテ居リマス、ソレカラ蕃人ニ付キマシテハ、大體長官カラ申上ゲマシタ通り、集團部落ニ致シマシテ、ソレカラ耕作ノ如キモ成ルベク切畑耕作ト云フヤウナコトヨリモ水田耕作ニ向ケルトカ、出來ル限り小サイ面積デ彼等ノ生活ガ保障出來ルヤウニ、集約的ニ農法ヲ指導シテ行クト云フコトニナリマス、今迄高砂族ガ居住シテ居リマシタ土地ガ相當價值ノアル地點デアリマス、ソレ等モ自然一般ノ産業的ナ意義ノアル開發ガ出來ルト云フコトニナッテ、是等ノ利用ガ漸次出來ルノデアリマス、殊ニ緩傾斜ノ地ヲ選ビマシテ、國土保安上、竝ニ植樹ヲ要シナイ地點ニハ、農耕地ト致シマシテ利用致シタイ、ソレ等ノ可能性ノ多イ所ヲ昭和十一年カラ四箇年計畫デ蕃地調査ヲ進メ

マシテ、是等ハ唯調査々々ニ終ラナイデ、調査直後ニ直チニ實行計畫ヲ立テマシテ、著々ヤッテ居ル譯デアリマス、第一ニ著手致シマシタ臺東廳ノ南半分、高雄州下ノ潮州郡、恒春郡ト云フヤウナ地點ニ付キマシテハ「キナ」或ハ「ココア」茶、「コーヒー」「ナール・バーク」ト云フヤウナ熱帶植物ノ臺灣ニ初メテ生育シ得ルヤウナ是等ノ各種重要作物ノ栽培ノ計畫ヲ立テマシテ、是等ハソレゾレ皆確實ナ企業ヲ爲シ得ルモノト認メマシタ者ニ現ニ企業ヲ許シマシテ、改良ニ努メテ居ル譯デアリマス、其ノ他牛ノ如キモ、或ハ羊毛ノ如キモ、山ノ勾配ヲ利用致シマシテ、相當將來發展シ得ルノデヤナカラウカ、是等ノ地點ニハ、ドウセ相當、農民或ハ是等ニ關係シテ居ル從業員等モ入レンケレバナラヌ譯デアリマスガ、高砂族ノ勞力ヲ利用スルノト相俟チマシテ、是等ノ地點ニハ可ナリ人間ガ澤山住ムヤウニナラウト思ヒマスカラ、從ッテ是等ニ供給スル食糧品其ノ他一般普通農耕モ普及スルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、丁度是等ニ對スル細カイ計數的ナコトハ手許ニ持チ合セテ居リマセヌ、調査致シマシタ面積其ノ他ハ後刻差上ガタイト思ッテ居リマス、ソレカラ今現ニヤッテ

居リマスルノハ臺東廳下ノ北ノ方ト花蓮港廳下ト、ソレカラ嘉義ノ中ニ可ナリ廣大ナ面積ガアリマスノデ、是等ヲ調ベタイト思ッテ居リマス、是ガ大體ニ於キマシテ緩傾斜ノ地點デアリマス、サウ云フコトニ致シマシテ、漸次臺灣ノ山地利利用ト云フコトモ調査ヲ進メルト共ニ、實行ニ依ッテ大イニ産業上ノ開發ニ努メタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村眞一郎君 私ノ質問ノ要點ハ重要農產物増産目標ガ此ノ計畫ニ寄與スル所、ドノ位出來ルカト云フコトガ要點デス、サウ云フコトガ出來レバ、農作物増産ニ付テノ安心ガ出來ル譯デアリマスカラ、ソレヲ伺ッテ居ル譯デアリマス、ソレニ對スル若シ資料ガ出來レバ、御差廻シテ願ヒタイ、ソレカラ水源涵養ガ此ノ蠻地ニ於テ出來ルト云フコトニナルト、先程私ガ申シタ水利關係ト密接ナ關係ガアル、水ノ不足ノヤウナ所ノ水源地ニ付テノ造林ヲ先ヅ第一著手ニヤルトカ何トカ云フヤウナコトガ、水利計畫ト共ニ連繫ヲ執ッテ計畫ガ立テラレタナラバ、増産計畫ハソレハ又非常ニ計畫ガ秩序立ッテ行クノデハナйкаト考ヘルノデアリマスカラ、此處ニ色々ナ智慧ヲ搾リ、色々ナ努力ヲ集メテ増産計畫ヲシヨウト云フコト

ニナツタ場合ニ於テハ、各方面ノ資料ヲ此處ニ集メテ、サウシテ工夫ヲ凝ラシテ、或物ヲ確實ニスルト云フ必要ガアルト云フ意味ニ於テ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、資料ガ出來タラ一ツ御送り願ヒタイ、加之此ノ蕃地ハ山嶽地帯デアルガ故ニ、熱帶ト雖モ上ニナルト溫帶ニナリ、尙上ノ方ニナレバ寒帶ニナルト云フ關係ガアル譯デアリマスカラ、ソナヤウナコトモ矢張り特用作物ノ場合ニ付テ、色々考慮スル餘地ガアルノデハナйка、唯無暗ニ、試ミニ色々ナモノヲヤッテシマフト云フコトヲヤル必要ハ何モ私ハナイト思フ、サウ云フコトハ目標デハナイ、珍シイ物ガ出來ルカラヤッテ見ヨウト云フヤウナ、慰ミ的ノコトヲ論ジテ居ル譯デハナイ、今各種ノ作物ニ付テ御話ガアリマシタガ、ソレハ御熱心ニヤラレルノハ結構ト思ヒマスガ、要點ハ臺灣ノ土地ノ命ズル所、氣候風土ノ命ズル所ニ依ッテノ適作物ニ付テ、増産ヲシテ行クト云フコトニ目標ヲ私ハ置カチケレバナラヌト思フ、サウ云フ意味ニ於テ資料ガ出來マシタラ、御提出ヲ願ヒタイ、私只今ノ所質問致シタイコトハ以上デゴザイマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明朝ハ大臣ガ見エルヤ

ウデアリマスカラ、正十時カラ開キマス
午後三時四十分散會
出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君
副委員長 伯爵黒木 三次君
委員 侯爵細川 護立君
子爵八條 隆正君
子爵松平 康春君
子爵綾小路 護君

松村眞一郎君
永田秀次郎君
男爵稻田 昌植君
男爵松田 正之君
宮田 光雄君
松村 義一君
丸山 鶴吉君
松本 眞平君
林 平四郎君
風間八左衛門君

政府委員

陸軍主計中將 石川半三郎君
拓務政務次官 寺田 市正君
臺灣總督府總務長官 森岡 二期君
臺灣總督府財務局長 嶺田 丘造君
臺灣總督府殖産局長 田端幸三郎君